















奈

益

田

甫

丸經通製逸獨  
月やく

TEN-SHO-DO DRUG CO.

260 E. FIRST STREET  
LOS ANGELES CALIF.

(八)

月二日三日四日五日六日

川島がおもづかず、その方に机を

前ひかるる。

妻子の部屋にいるまへて

そつこ人口からなかの様子を伺つ

てみたが、やはり光江らしい女の聲も姿も

やつまに注意をはらつて坐つてゐるがみだつた。

かの女は思ひ立つて部屋なかに

ゆづらうと思つた。

「光江のやつがきてるか、来て

るないか。」

「ふくらうと思つた。

「同時に我にとなく心臓の鼓動が

めじやすい神経が、彼女のなかに

思ひ立つてゐるか、來て

るないか。」

「ふくらうと思つた。

「急に高まつてきた。

「思ひ立つてゐるか、來て

るないか。」



(日曜水)

モアが、戀の気持ちをかかるくし

二階へあがりかけた。

けれどもちの、そのときは次ぎの

恋のやさしい神経が、彼女のなかに

思ひ立つてゐるか、來て

るないか。」

「ふくらうと思つた。

「急に高まつてきた。

「思ひ立つてゐるか、來て

るないか。」

「